



第九回 米子歴史絵巻

観覧無料

国指定重要無形民俗文化財

要整理券

因幡の 麒麟獅子舞

鳥取県指定無形民俗文化財

因幡の傘踊り

令和2年

9月20日 午後2時開演(午後3時終了予定)
〔午後1時30分開場〕

日時

会場

国史跡 上淀廃寺跡 米子市淀江町福岡

〔雨天時：米子市淀江文化センター〕

※会場変更または中止の場合は、前日9月19日(土)の午後1時頃に米子市立山陰歴史館・米子市文化ホールのホームページにてお知らせいたします。

整理券

●配布場所／米子市立山陰歴史館・米子市文化ホール 米子市文化振興課

●配布開始日／8月20日(木)

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、整理券にはお名前とご連絡先を記入していただき、会場までご持参いただきます。万が一感染症が発生した場合、本情報を必要に応じて保健所及び公的機関へ開示しますことをご了承ください。本情報は、感染症が発生しなかった場合1ヶ月程度で破棄いたします。また、取得した個人情報につきましては、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施します。



「山陰歴史館HP」

お問い合わせ

米子市立山陰歴史館(米子市中町20) TEL.0859-22-7161 (火曜日休館)

開館時間…午前9:30～午後6:00(最終入館午後5:30) ホームページ…「山陰歴史館」で検索

主催：ととりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会・米子市・米子市教育委員会・(一財)米子市文化財団[米子市立山陰歴史館・米子市文化ホール]

協力：彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会、上淀自治会、(株)白鳳[上淀白鳳の丘展示館]・(一財)米子市文化財団[米子市淀江文化センター]、鳥取県立むきばんだ史跡公園



因幡の麒麟獅子舞

(国指定重要無形民俗文化財)

初代鳥取藩主・池田光仲が、慶安3年(1650)に鳥取の檜谿に日光東照宮の御神霊を勧請して鳥取に東照宮を建立し、承応元年(1652)にその祭礼行列に「麒麟獅子」と、あやし役の「狸々」を登場させたのが始まりとされる。麒麟は優れた政治を行うと姿を現すとされる想像上の動物で、祭礼行列で麒麟獅子が登場したのは、光仲が曾祖父・徳川家康のような立派な政治を行うことの決意表明であり、自身が家康の曾孫であることを知らしめるためであったと考えられている。この地域の麒麟獅子舞は、因幡(鳥取県東部)から但馬(兵庫県北西部)にかけて分布しており、令和元年(2019)5月に「日本海の風が生んだ絶景と神秘 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」」をストーリーとして日本遺産に認定され、令和2年(2020)3月に「因幡・但馬の麒麟獅子舞」として国の重要無形民俗文化財に指定された。

●出演団体／因幡麒麟獅子舞の会

因幡麒麟獅子舞の会は、平成29年(2017)2月に、鳥取県因幡地方に古くから伝わる麒麟獅子舞の団体の活動を支援、会員間の相互連携を図ることにより、伝統文化を継承、後継者を育成する目的で発足し、国内外の各種のイベントにも積極的に参加して、広報活動にも努めている。

国府町因幡の傘踊り

(鳥取県指定無形民俗文化財)

鳥取市国府町の傘踊りは、江戸時代末期の大干ばつの時に雨乞をしたことが始まりとされる。五郎作という老爺が笠を持って雨乞をしたところ、数日後に雨が降り大飢饉を免れたが、五郎作は雨乞の疲れがもとで亡くなったため、その霊を慰めようと五郎作の初盆から笠を手に踊るようになった。その後、明治29年(1896)頃、鳥取市国府町高岡の山本徳次郎が、昔から伝わる踊りを冠笠から長柄の傘に替え、剣舞の型を取り入れた踊りを考案したのが現在の傘踊りだといわれている。因幡の傘踊りの系統は概ね二分されており、傘を内側に回す「国府系」のものと、外側に回す「横枕系」のものとがあり、由来についてはそれぞれ別の話が伝わっている。昭和49年(1974)10月に鳥取県無形民俗文化財に指定された。



●出演団体／国府町因幡の傘踊り保存会 麻生支部

国府町因幡の傘踊り保存会麻生支部は「傘を大きく回す」「キメの姿勢はきっちりキメる」「囃子(掛け声)をしっかりと入れる」いわゆる「たっぶり踊る」ことを心がけています。踊ったあとは、「たっぶり呑む」ことも、この支部の特徴です。新型コロナ禍の影響で、今回が今年初の舞台となります。張り切って踊らせて頂きます。

会場案内図



《注意事項》

- ※敷物などは各自ご用意ください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のことをお願いいたします。
- 次の方はご参加をご遠慮ください。
 - 37.5度以上の熱がある方
 - せき、咽頭痛などがある方
 - 2週間以内に感染が拡大している国、地域への訪問歴のある方
 - マスクの着用をお願いいたします。
- ※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更または中止とさせていただく場合もございます。予めご了承ください。

◎白鳳高校横臨時駐車場から会場まで、シャトルバスを運行します。(13:00~16:00)

混雑が予想されますので、お早めにお越しください。

◎雨天会場開催の場合はシャトルバスを運行しません。米子市淀江文化センター駐車場をご利用ください。

同時
開催

会場では
「第5回彼岸花まつり」

地元農産品の販売や史跡ガイド、石馬の公開などがあります。

●期間／令和2年9月20日(日)、

21日(月・祝)、22日(火・祝)

●時間／午前10:00~午後3:00(9/22は正午まで)